

第61号 平成30年12月発行

けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。
「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する
情報をお知らせします～



「べにこはく」は甘酸っぱくて、色付きが良
いりんごだよ。長く保存できて、美味しい
からみんなも食べてみてね！



新雪に輝く冬の果実「べにこはく」
(福島市瀬上)

伊達農業普及所が「徳安記念普及功労賞」を受賞しました！

平成30年11月29日(木)、東京大学安田講堂において、全国農業改良普及職員協議会及び一般社団法人全国農業改良普及支援協会が主催する「協同農業普及事業70周年記念第6回(通算68回)農業普及活動高度化全国研究大会」が開催され、伊達農業普及所の「あんぽ柿産地復興に向けた取組」が「農業普及職員・団体の普及事業における優れた活動」として認められ、「徳安記念普及功労賞」を授与されました。

平成23年、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故の影響により、伊達地域全域があんぽ柿の加工自粛を余儀なくされる事態となりました。しかし、先人達が築いてきたあんぽ柿発祥の地の伝統を守りたいとの強い思いのもと、生産者や関係機関が一丸となって産地の復興・再生に取り組みました。

当所では、伊達地域の原料柿の汚染状況の把握を始め、高圧洗浄機を用いた樹体洗浄、安全なあんぽ柿生産のためのマニュアルづくり等、生産現場の指導に取り組んだほか、原料柿の検査やあんぽ柿の製品検査機開発、加工施設設置への支援等、産地再生に向けた取組を継続的に行ってまいりました。

平成25年12月には、未曾有の大震災からわずか2年半という短い期間で、安全な原料柿の生産とあんぽ柿検査体制が確立され、あんぽ柿の加工・出荷が再開されました。

また、平成28年には、JAふくしま未来が「あんぽ柿加工及び製品パッケージ施設 あんぽ工房みらい」を設置し、産地の振興、維持発展の拠点となっています。これにより、平成30年度の全体の出荷計画量は、大震災前の9割に相当する約1,400トンとなり、あんぽ柿の出荷は順調に回復しています。

今回の受賞は、我々農業普及事業に携わる者にとって大きな励みになるとともに、伊達農業普及所の歴代職員の努力に敬意を表しつつ、今後も職員の力を結集し、関係機関と連携しながら、伊達地域あんぽ柿産地のさらなる発展に向け取り組んでいきます。

(伊達農業普及所)



徳安記念普及功労賞



あんぽ柿出荷再開オープニングセレモニー
(H25.12、JA伊達みらい梁川共選場)



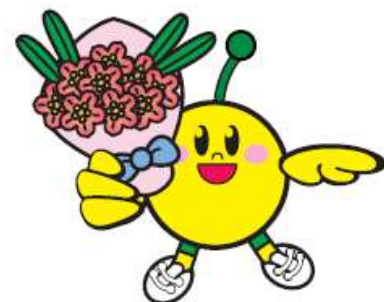
原料柿汚染状況調査
(H25.11、伊達市保原町)



高圧洗浄機を用いた樹体洗浄
(H24.11、伊達市保原町)



JAふくしま未来「あんぽ工房みらい」完成披露式
(H28.6、伊達市梁川町)



スマート農業普及に向け研修会を開催しました！

平成30年11月30日(金)、県二本松合同庁舎において、平成30年度「ふくしまアグリイノベーション実証事業」安達地域農業技術革新推進協議会研修会を開催しました。

研修会では、まずヤンマーアグリジャパン株式会社東北支社の戸堀勝俊氏から「稲作分野におけるICT技術を活用した農業機械について」と題し、ロボットトラクタや直進田植機、リモートセンシング技術と組み合わせた肥培管理などの、開発から現場での普及状況について講演がありました。

次に、岩手県北上市の株式会社西部開発農産の清水一孝生産部長から「西部開発農産における大規模土地型農業のためのICT技術活用」と題し、作付面積900ha超の農業法人の生産現場でのICT技術活用について講演がありました。

参加者からは、先進的な機械や経営に対して多くの質問が出され、活発な研修会となりました。参加者の今後の営農に役立つことが期待されます。

今後、当所では来年度にかけて実証事業の調査を継続し、成果を取りまとめることとしています。

(安達農業普及所)



ヤンマーアグリジャパン(株) 戸堀勝俊 氏



(株)西部開発農産 清水一孝 氏

「県北地方グリーン・ツーリズム交流会及び農家民宿セミナー」を開催しました！

平成30年12月5日（水）、二本松市東和の道の駅ふくしま東和において「平成30年度 県北地方グリーン・ツーリズム交流会及び農家民宿セミナー」を開催し、農家民宿開設者のほか、関係者など約50名が参加しました。

始めに県北地方のグリーン・ツーリズムの現状を当事務所の阿部専門員が説明し、その後、第1部として「スマホ時代の集客方法～あなたの農家民宿をPRするには～」と題し、株式会社SML代表取締役熊坂仁美氏に講演していただき、ゲストとして東和で農家民宿と農家レストランを経営する「東和季の子工房」の武藤洋平氏に話題提供していただきました。

後半の第2部ではグッドコミュニケーションズLaboの伊藤佳恵子氏から「農家民宿の『おもてなし』力向上のために必要なこと」と題して講演いただいた後、株式会社f'sポケット代表取締役の齋藤久美子氏から「会いたい人がいる場所～東和に行きたくなる理由」、そしてNPO法人ふるさと回帰支援センター、福島県移住相談員の大宮美咲氏より「交流から移住へ 農家民宿の可能性」について事例発表をしていただきました。参加者たちは、自分たちではなかなか気づかない「田舎」ならではの魅力や、情報発信の重要性を再認識したようでした。

当事務所としても、今後も県北地方のグリーン・ツーリズムと農家民宿の活性化につながる支援を継続していきます。

(企画部)



熊坂氏と武藤氏による講演、話題提供



伊藤氏による講演の様子



齋藤氏による事例発表



大宮氏による事例発表

「DATEC(ダテック)」が「ふくしま大交流フェスタ 2018」に出展しました！

平成30年12月9日(日)、東京国際フォーラムで開催された「ふくしま大交流フェスタ2018」に、伊達地方の青年農業者クラブ「DATEC(ダテック)」が出展しました。

「ふくしま大交流フェスタ2018」は、福島県が主催し、「見て、触れて、味わって、体感できる」をテーマに、県内各地から様々な団体が出展し、ふくしまの魅力を発信するイベントです。

DATECは伊達地方の20～40代の若い農業者を中心に構成され、次世代を担う農業者としての資質向上と消費者等との交流を目的として平成8年から活動している組織です。

今回は、今が旬であるりんご・いちご・洋なし等の農産物を出品・販売しました。販売の際には、来場者に対して、会員自らが栽培した農産物の特徴を丁寧に説明しながら、それぞれの好みにあった品種を選んでもらうなど、消費者との交流を深めることができました。りんごを試食した来場者からは、「甘くておいしい!」、「香りがフルーティー!」など、感激の声が聞かれました。

また、来場者に「DATEC紹介チラシ」を配布し、会員の活動内容や伊達地方の農産物などをPRしました。本活動により、首都圏の方々に福島・伊達地方への興味・関心を持っていただくことができ、とても有意義な出展となりました。

当所では、今後も、次世代を担う農業者育成のためにDATECの活動を支援していきます。

(伊達農業普及所)



DATEC販売ブース



多くの方と交流できました!



配布したチラシ



参加者で集合写真

「安達地方きゅうりセミナー」を開催しました！

平成30年12月5日(水)、二本松市岳下住民センターにおいて、当所とJAふくしま未来との共催で「平成30年度安達地方きゅうりセミナー」を開催し、管内のきゅうり生産者や関係機関担当者81名が出席しました。

セミナーでは、平成28年度から「ふくしまから はじめよう。攻めの農業技術革新事業」により取り組んでいる、「日射に合わせてかん水を自動に行う『簡易自動かん水システム』」がきゅうりの収量向上と作業の省力化につながった現地実証の成果を担当農家の阿部與一氏から報告していただきました。

また、ほ場に合ったかん水システムの選択方法や病害虫に負けない技術導入、品種の選び方などについて、資材・種苗メーカーの方から講話をいただきました。

安達地方のきゅうりは、市場から高い評価をいただいています。参加者は「来年はもっと良いきゅうりをたくさん出荷する！」と今後に向けて熱心に聴いていました。

当所としても、管内において導入が進んできている「簡易自動かん水システム」について、効果的に活用するなど、きゅうりの単収向上のための支援を引き続き行っていきます。

(安達農業普及所)



挨拶する安達農業普及所遠藤所長



きゅうり栽培は水が大切！

実証成果について説明する担当農家の阿部氏
今年の暑さを乗り切ったかん水システムを紹介



単収向上に向けた技術導入を検討するきゅうり生産者



きゅうりの品種特性について学びます

新規就農者・農業後継者応援セミナーが開催されました！

平成30年12月18日(火)、福島市ウェディングエルティにおいて、JAふくしま未来主催による「平成30年度新規就農者・農業後継者応援セミナー」が開催され、新規就農者や就農希望者、関係機関合わせて約110名が出席しました。

本セミナーは、平成28年に設立された「福島県北・そうま地区新規就農支援連絡会」(構成団体:JA管内市町村、農林事務所、JA福島中央会、JAふくしま未来 事務局:JAふくしま未来)の活動の一環として、毎年開催されています。

セミナーでは、千葉県富里市で小松菜栽培を行っている株式会社ベジフルファームの田中健二代表と長山衛取締役が講演し「エキサイティングな革命を起こし農と言える日本へ。」と題し、農業未経験者のみではじまった、まさに農業革命とも言える農業経営を熱く語っていただきました。参加者からは多くの質問が出され、田中代表からは激励の言葉をいただきました。

また、西会津町でミネラル農法により20種類以上の野菜を生産しているめぐい菜農園の渡部佳菜子代表には「農業を仕事にして～震災からの歩み～」として、県農業短大卒業の直後に東日本大震災を経験し、それ以降、「人と繋がる・人と関わる・人に伝える」をモットーに、直接販売や収穫体験等を通じて福島県の農業を幅広くPRしてきた活動内容をお話いただきました。

講演後は、参加者が10のグループに分かれ、意見交換会を実施しました。各テーブルでは、新規就農者や就農希望者からの就農に対する不安や疑問等に対して、先輩農業者や関係機関からアドバイスや情報提供がなされ、大変有意義な時間となりました。

当事務所としましても、引き続き就農相談や技術向上に対する支援を行っていきます。

(農業振興普及部)



ベジフルファーム田中代表の講演



意見交換会

県北地方鳥インフルエンザ防疫演習を実施しました！

平成30年11月29日(木)、福島市の松川学習センターにおいて「平成30年度県北地方鳥インフルエンザ防疫演習」を実施し、関係機関、団体から約85名が参加しました。

防疫演習では、野鳥の本格的な飛来シーズンに備え、県北地方における鳥インフルエンザ防疫体制を確認すると共に、養鶏農家での鳥インフルエンザ発生を想定した防疫作業の一連の流れを体験しました。参加者は、防護服の着脱や鶏の捕鳥を実際に体験することで、現地での防疫作業の流れを把握することができました。

近年、近隣国や国内において家きんの高病原性鳥インフルエンザ発生事例が増えており、本県へのウイルス侵入リスクは一層高まっています。万が一、本病が発生した場合に、万全の体制で初動防疫が行えるよう、今後も関係機関一丸となって取り組んでいきます。(農業振興普及部)



防護服の着衣体験



肉用鶏の捕鳥練習

福島県オリジナル新品種「べにこはく」の収穫が行われました！

りんご「ふじ」の収穫が終わる11月下旬、福島県オリジナル新品種「べにこはく」の収穫が始まります。福島市瀬上の「果樹園やまと」では、濃く色付いた「べにこはく」が収穫され、出荷されるのを待っています。

「べにこはく」は福島県が育成し、今年6月に品種登録された新品種のりんごです。着色が良好で、蜜入りが多いほか、糖度と酸度がともに高く、口に入れると甘酸っぱい味が口全体に広がり、食べた人を驚かせます。また、貯蔵性が高いことから、2月に出荷することも可能です。酸味があるため加工にも向いており、色づきの良い皮から抽出されるきれいな紅色も魅力です。

当事務所としましても、「ふじ」に大きく偏った品種構成の改善と、温暖化による着色不良対策として「べにこはく」の普及に向けて、引き続き支援を行っていきます。(農業振興普及部)



暑さに負けず、紅色に染まった「べにこはく」



農地保全事業柱田東地区の工事が完了しました！

伊達市柱田東地区は、受益面積 27.7ha のうち、約 26ha で、福島県を代表する農産物のももと柿を生産しています。しかし、急傾斜地の果樹地帯で、事業実施前は、農地の洗掘や崩落の発生や、狭小な砂利道により、農作業や農産物の流通に支障をきたしてきました。そのため、事業では、農地崩落などの災害未然防止のため、雨水を適切に排出する排水路の整備を行うとともに、急傾斜地の農地保全と営農の効率化を図るため、平成 20 年より水路及び道路工事を行ってきました。

また、運搬時に荷傷みしやすいももや柿のために、広域共選場等へつながる道路を整備しました。工事の完了により、柱田東地区の安定的な農産物の生産が期待されます。

(農村整備部)



狭く急な砂利道(工事前)



舗装された道路(工事後)



排水路が無い状態(工事前)



排水路を整備(工事後)

「農商工連携 きっかけづくり交流会」を開催します！

けんぼく6次化ミーティング主催の「農商工連携 きっかけづくり交流会」を開催します。
 パネル、ブース展示コーナーには県北管内の30近くの事業者が参加します。これからは地域が見える地元フードの時代。ぜひ御参加ください。

■日時 平成31年1月29日(火) 13:00~16:30

■場所 ウィル福島アクティおろしまち(住所:福島市鎌田字卸町10-1)

けんぼく6次化ミーティング
農商工連携
きっかけづくり交流会

ひとりで頑張らない。みんなで地域産業を盛り上げよう！
 加工と農業の両立！農業と商工業の出合いが新たなビジネスチャンスを生む♡

日時 平成31年1月29日(火) 13:00 (受付12:50~)

場所 ウィル福島アクティおろしまち (福島市鎌田字卸町10-1)

内容
講演 13:10~14:50
 講師：POPセンター福島 川村洋一氏
 「販売力UP、購買力を刺激する手法」
 実習：手書き「商カード」を作る
最新加工機器実演 15:00~15:30
 講師：(株)ホシザキ コンサル室 室長 佐瀬正晃氏
パネル展示・参加者交流会 15:30~16:30
 加工事業者、農産物生産者のブース
 パッケージデザイン業者、印刷業者の展示
 商談、質問などの情報交換や交流の場に！

参加費 無料

参加申込 裏面の参加申込用紙を記入し、平成31年1月21日(月)までに FAX 又は電子メールにてお申込みください。展示希望者はお早め！(切平成30年12月17日(月)まで)

申込先 問合せ先 福島県県北農林事務所 企画部地域農林企画課
 担当 小野知恵
 電話 024-521-2596 FAX024-521-2850
 電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

~交流会ブース・パネル展示事業者一覧~

JAふくしま未来
バウムラボ樹楽里
むろうどん製麺
(株)菱沼農園
(株)森山
(株)三和紙店
とがし果樹園
旬菜畑
大生信夫の里
大内果樹園
までい工房美彩恋人
未来農業(株)
(有)ニューキムラヤ
パナックス
信陵建設(株)6次化商品企画室
ふくしま農家の夢ワイン(株)
NPO 法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会
(一社)伊達市農林業振興公社
(有)三宝工業
酒井ぶどう園
松太郎柿園
(株)ベジフルプランニング
おおたまエゴマの会
福島県 県産品加工支援センター
陽光社印刷株式会社
福一屋
(株)アストラ
タニコー(株)福島営業所
(株)ホシザキ東北

■お申込みは「県北地方の地域産業6次化」

URL...

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/kikaku-6jika.html>

※県北農林事務所企画部まで FAX、メール
 またはお電話でお申し込みください。

(企画部)

(順不同)

「食品表示法研修会」を開催します！

食品表示法や品質表示について理解を深めていただくため、「平成30年度食品表示法研修会」を開催します。ぜひ御参加ください。

- 日時 平成31年2月1日(金) 10:30~16:30
- 場所 福島県庁 本庁舎5階「正庁」

平成30年度食品表示法研修会



日時 平成31年2月1日(金) 10:30~16:30
場所 福島県庁 本庁舎5階 《正庁》

	募集人数	100名程度(定員になり次第締切)
	募集対象	東北地域の畜産所運営関係者、出荷者、農林水産物の簡易な加工者
	研修内容	午前の部 食品表示法の概要 品質表示について(原材料名、産地表示等) 午後の部 衛生事項について(アレルギー、賞味期限等) 保健事項について(栄養表示等) 講義内容についての個別相談
	申込方法	裏面をご覧ください
	申込締切	平成31年1月25日(金)

★県庁外来駐車場は台数に限りがあります。満車の場合は大変申し訳ありませんが、お近くの有料駐車場(自己負担)をご利用ください。なるべく公共交通機関でお越しくださいませうお願いいたします。



- お申し込みは「平成30年度食品表示法研修会の開催について」URL・・・
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/h27syokuhinnhyouji-kensyukai.html>
 ※県北農林事務所企画部まで FAX、メールまたはお電話でお申し込みください。

(企画部)

第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン開催予告！

県北地方の冬の味覚のおいしさや安全性を再認識していただくため、第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを行います。

1日だけの限定で「あんぼ柿春巻き」の販売も行います。ぜひお越しください！

■日時 平成31年1月15日（火）10:00～

■場所 いちい飯坂店（住所：福島市飯坂町字月崎町12-4）

第4回 おいしいふくしま いただきます！ キャンペーン
In いちい飯坂店 **いちい**

県産農林水産物のおいしさや安全性を再認識していただき、風評払拭と地産地消を推進するため、県産農林水産物の消費拡大キャンペーンを実施します！

日時：平成31年1月15日（火）10:00～
会場：いちい飯坂店

ふくしま産地元産物のあんぼ柿の味覚をご用事でお待ちしております。

当日**2000円**以上お買い上げのお客様に**抽選**でプレゼントを差し上げます！！

アンケートを完答していただいた**先着200名**のお客様にも、商品をプレゼントします。

1日だけの限定販売!! **あんぼ柿春巻き**

キビタンの子どもキビイが来るよ！
11:00～
キビイです♡

主催・お問い合わせ
福島県県北農林事務所企画部
電話 024-521-2598

がんばって福島県の高産多収をしよう！！

けんぼくの6次化の取組の紹介 一般社団法人 伊達市農林業振興公社 inoDATE 「平成最後は亥年！イノシシ革を使った手作り製品」



伊達市は肥沃な大地に恵まれ、おいしい果物や野菜が収穫される農業が盛んなまちです。面積の約40%を森林が占めており阿武隈山系には多くのイノシシが生息しています。田畑を荒らすため捕獲されたイノシシは、震災後は活用されないまま全頭焼却処分されてきました。

そこで、少しでも地域振興に役立てることができないかと試行錯誤し誕生したのが、イノシシ革有効利用プロジェクトです。イノシシの革は柔らかく通気性もあり丈夫です。伊達市オリジナルのレザーブランド inoDATE(イーノだて)では、名刺入れなど、さまざまな商品を製作しています。



3色のイノキー

来年は亥年！そこでイノシシ型のキーホルダー“イノキー”の販売を11月1日より始めました。一つ一つがスタッフの手作りです。また、イベントなどで小物やキーホルダーを作るワークショップも行うことができます。先日、キーホルダー作りのワークショップに参加された二本松市塩沢公民館の女性講座の皆さんからは、「思ったより簡単にできた。」「みんな手芸などが得意で手先が器用だから、楽しく作れた。」といった感想が聞かれました。

なお、伊達市農林業振興公社に直接お越しいただくか、電話注文いただければ、各商品に自分だけのオリジナルの色の組み合わせや名入れをすることも可能です。

亥年にはイノシシ革製品を持って運気をアップしましょう！

●取扱店舗

道の駅伊達の郷りょうぜん、まちの駅やながわ、
まちなかサロン「ヨツテミ」(霊山町掛田)、県庁売店、
県農業総合センター売店、飯坂ホテル聚楽など

●オンラインショップ

<http://www.ino-date.com>

●事業者データ

〒960-0801 伊達市霊山町掛田字段居 45 番地 ☎024-564-2301 FAX 024-586-3077



2色の革を使ったオーダーメイドの名刺入れ



ワークショップに参加された二本松市塩沢公民館の女性講座の皆さんとできあがった作品

編集・発行 福島県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

